

2016年度 (H28) 物理学コース 新入生 履修ガイダンス・オリエンテーション



プログラム

時間：2016年4月5日(火) 13:30 - 17:30
場所：12号館 202室

13:30 - 14:20 ガイダンス

- ◆ 主任挨拶・物理学教室の紹介 (首藤 啓 教授)
- ◆ 履修に関する注意 (「履修の手引」を見ながら) (松田 達磨)

14:30 - 15:10 新入生オリエンテーション

- ◆ 先輩学生の話 「学生生活について」
谷治 健太郎 さん (宇宙理論 修士2年)
中村 果澄 さん (宇宙物理学実験 修士2年)

- ◆ 学生生活上の諸注意
- ◆ 担任制について

14:55 - 15:45

- ◆ スタッフ (教授・准教授) 紹介と面談
・ 写真撮影 と 担任との第1回面談

16:00 - 17:30 (懇親会)

- ◆ 助教・新入生自己紹介

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

本日の資料は、「**在学生へ**」 → 「**学部教務**」 に置かれています。

物理学コース・物理学専攻 のホームページ



Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

物理学教室の構成

()内は2016年4月現在の教員数

教授：10名
准教授：12名
助教：12名
連携教員：4名



首都大学東京

A

素核宇宙理論

- 素粒子理論 (2)
- 高エネルギー理論 (1)
- 原子核ハドロン物理 (1)
- 宇宙理論 (2)

理論

物性基礎理論

B

- 非線形物理 (2)
- 量子凝縮系理論 (3)
- 強相関電子系 (2)

C

粒子宇宙物理

- 高エネルギー実験 (3)
- 原子物理実験 (2)
- 宇宙物理実験 (4)

実験

物性物理

D

- 電子物性 (3)
- ナノ物性 (4)
- 表界面光物性 (2)
- 粒子ビーム物性 (1)
- ソフトマター物性 (2)

スタッフ全員が国際的に第一線で活躍する研究者

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

物理学の最先端へ

大学院 or 就職

卒業研究 (理論 or 実験)

素粒子, 原子核, 原子, 固体, etc.

熱力学, 統計力学, 量子力学, 相対論

力学, 電磁気学, 数学, 英語, 情報処理, 実験技術

高校物理, 高校数学, 高校英語, 一般常識

物理は積み上げ型の学問

基礎無くして、最先端には届かない!



首都大学東京

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

「履修の手引」の重要性



「履修の手引」 → **ルールブック** (履修に関わる全て事項を網羅)

- ✓ 入学時のルールは、卒業するまで変わらない。注)
- ✓ 次年度以降に改訂されても、皆さんには適用されない。注)
- ✓ 一部、上級生とは異なるルールもあるので注意！

**「履修の手引」を熟読することが、
学生生活を充実させることの第一歩！**

注)履修の手引きの変更は、学生に有利になることなどは即時変更適応となる場合もある。

1. 全学共通 (色付き部分)	p. 1 - 61	👉 午前中に説明
2. 理工学系	p. 120 - 125	👉 一部説明済み
3. 物理学コース	p. 130 - 133	

「履修の手引」を参照しながら説明します。
メモ等を取りながら、注意深く聞いて下さい。

p.120 卒業要件 履修上の大事な数字



物理学コース

		卒業要件	
全学 共通 科目 群	基礎ゼミナール	2単位	124 単位 以上
	情報リテラシー実践	2単位以上 (*1)	
	実践英語	8単位	
	未修言語科目		
	理系共通基礎科目	20単位以上 (*2)	
	保健体育科目		
	キャリア教育科目		
	都市・社会・環境	14単位以上	
	文化・芸術・歴史		
	生命・人間・健康		
科学・技術・産業			
総合ゼミナール			
基 盤 科 目 群	人文科学領域		
	社会科学領域		
	自然科学領域		
	健康科学領域		
科 目 群	必修科目	42単位	68単位 以上
	選択必修科目	26単位以上	
	他学部・他学科・系・ コースの専門教育科目		

卒業要件 **124** 単位以上

学士の学位取得(卒業)要件を満たさなければならない

- ✓ 全学で定められた必修科目
- ✓ 各コースで定められた必修科目

- *1 必修科目: 情報リテラシー実践I
- *2 必修科目: 14単位(必要な科目は標準履修課程表を参照のこと)
- ※ 未修言語科目: 第二群と第三群を合わせて8単位まで算入可
- ※ 単位互換科目は、卒業単位には含まない

1年間に履修登録できる単位の上限 50 単位
(※ ただし教職科目は除く)

前・後期のバランス大事
(前期に登録し過ぎないこと！)

以降のスライドで説明

*1 必修科目: 情報リテラシー実践 I
*2 必修科目: 14単位(必要な科目は標準履修課程表を参照のこと)
※未修言語科目: 第二群と第三群を合わせて8単位まで算入可
※単位互換科目は、卒業単位には含まない

キャリア教育科目、教養科目群、基盤科目群の科目一覧

キャリア教育科目			
「グローバル人材」をめざす学び	キャリア形成	キャリア形成演習	大学生の学びをデザインする
学びのデザイン：理論と実践	現場体験型インターンシップ		

教養科目群			
都市・社会・環境	文化・芸術・歴史	生命・人間・健康	科学・技術・産業
都市社会学 アジア・アフリカ社会論 社会と福祉 生活と福祉 教育学A 教育学B 情報社会と法 日本国憲法 都市の仕組みと仕事 官庁の仕組みと仕事 都市の生活環境と化学物質 生態と環境 動物の生態と多様性 自然と社会と文化 電気エネルギーと環境 都市政策入門 都市と環境 地域環境の人文地理 都市空間の人文地理 環境を支える土木技術 エネルギー化学入門 環境調和化学入門 自然・文化・福祉入門 自然・福祉の考え方 文化・福祉の考え方 江戸・東京と江戸屋、皇居 オリンピック文化論 社会と経営 特定社会活動 Tourism theories and practice 人間らしく働くこと・働く者の権利・権利を守ること Sustainability Studies and Global Environmental Governance Japanese Nature and Sotoyama	社会意識と社会構造 イスラームの社会 自然と文明の哲学 心の哲学 西洋古典学A 西洋古典学B 都市の歴史 日本の歴史と社会・文化 西洋の歴史と社会・文化 アジアの歴史と社会・文化 文明と歴史 歴史学入門 考古学入門 日本語と日本文学A 日本語と日本文学B アジアの言語と文化A アジアの言語と文化B アメリカの文化 イギリスの文化 ドイツ語圏の文化 フランス語圏の文化 文学概論I 文学概論II 表象文化論基礎A 表象文化論基礎B 映画A 映画B 演劇A 演劇B 音楽A 音楽B 美術A 美術B 植物の多様性と進化 進化生物学 科学史B 日本語と社会と文化 日本事情 Global Mindset Intercultural Communication and Interaction Japanese Language and Society The Japanese Language Music-making in Japan	生活の心理学 心の科学 環境と生命の倫理 ことばの科学 生命を支える化学物質 現代社会・化学の役割 細胞の世界 ゲノム科学 生命科学 神経生物学 人間生物学 先導生命化学入門 環境と健康 運動行動学 エクササイズ科学 健康スポーツ科学 健康の栄養学 行動生理学 食品とアレルギー 生活習慣病と栄養 認知と行動 生体機能調節学	科学哲学 技術と倫理 技術と共生する文明 地球環境の変遷と考古学 日本の産業と企業 現代物理学の考え方 素粒子から宇宙 エントロピーの科学 科学史A 宇宙地球物質の化学 分子の形と対称性 化学物質と社会 ハイオテクノロジー 身の周りの電気 ものづくりテクノロジー 大気と水の循環と水 大地の成り立ちを探る 自然災害と社会 都市創造と再生技術 先端材料化学入門 ナノ材料産業論 メカトロニクス入門 ロボットと社会 現代社会における通信 宇宙からみた地球環境 デザインと生活

合計 14 単位以上
(選択必修)

1科目(2単位)

⇒ 最低 7 科目

基盤科目群			
人文科学領域	社会科学領域	自然科学領域	健康科学領域
社会調査法 社会学A 社会学B 社会学C 文化人類学A 文化人類学B 社会福祉学 心理学の基礎 心理学的方法論 学校と労働社会 「教育問題」を読み直す 哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B 論理学A 論理学B 人間・文化・社会	民法法入門 刑法法入門 法学入門 政治理論入門 現代政治入門 入門マクロ経済学 入門ミクロ経済学 経済史・思想入門 経営学入門 会計学入門 ファイナンス入門 統計学I 統計学II 都市問題の歴史的文脈 デザインマネジメント概論 会計制度と社会 サービス・マーケティング 投資の科学	数学の歴史 計算の理論 集合と論理的思考 現代的教育のための確率統計 環境と建築 都市空間と人間 都市生活を支える情報ネットワーク技術 航空機力学とペーパープレーン 情報社会システム論 経営学入門	人間の起源と健康 人間発達学 医療統計学 移動の人間工学 建築文化論 医療と情報 保健医療概論 リハビリテーション概論

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

物理学コース標準履修課程表

区	分	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	
全学共通科目	基礎ゼミナール(必修)	基礎ゼミナール	2			
	情報リテラシー実践	情報リテラシー実践I(必修)	2			
	言語科目	実践英語(必修)	実践英語Ia	1	実践英語Ib	1
			実践英語Ic	1	実践英語Id	1
	基盤科目	必修科目	教養基礎物理I	2	教養基礎物理II	2
			微分積分I	2	微分積分II	2
			線形代数I	2	線形代数II	2
		選択必修科目	化学概説I	2	化学概説II	2
	専門教育科目群	必修科目	物理学演習I	2	物理学演習II	2
			物理学数学基礎	2	熱・量子基礎	2
選択必修科目		物理セミナー	2			
専門教育科目群	必修科目	熱・統計力学I	2	物理学特別研究I	4	
		物理学実験第三	4			
	選択必修科目	量子力学II	2	一般相対論*	2	
		物理学演習V	4	熱・統計力学II	2	
		連続体基礎	2	原子核物理学*	2	
		物理学基礎I	2	原子物理学*	2	
		物理情報処理法	2	粒子物理学*	2	
		特殊相対論	2	物性物理学I*	2	
		光学	2	流体力学*	2	
		原子核・素粒子	2	物理学特殊講義A	1	
	現代物理学序論	2	物理学特殊講義B	2		

「履修上の注意」(p. 130)

◆ 履修のモデルプラン

物理は積み上げ型

指定年次に履修

物理コース必修 23 科目

物理学実験第一
物理学実験第二
物理学実験第三
物理学実験第四

順番に履修

卒業の遅れにつながる

◆ 演習：講義とリンク

原則、同時に履修する

□内の数字の合計は 114 単位
卒業単位 124 単位 より少ない

物理学コース標準履修課程表

区分	1年前期	単位	1年後期	単位	
全学 共通 科目	基礎ゼミナール (必修)	基礎ゼミナール	2		
	情報リテラシー実践	情報リテラシー実践I (必修)	2		
	言語科目	実践英語 (必修)	実践英語 I a 実践英語 I c	1 1	実践英語 I b 実践英語 I d 1 1
		未修言語科目	第二群言語科目 (通年) を推奨する		8
	理系 共通 基礎 科目	必修科目	教養基礎物理 I 微分積分 I 線形代数 I	2 2 2	教養基礎物理 II 微分積分 II 線形代数 II 2 2 2
		選択必修科目	化学概説 I (7つ必修科目を含む理系共通基礎科目 (p.2	2	化学概説 II 2
		保健体育科目			
	キャリア教育科目				
	教養科目群	1科目	2	2科目	4
	基盤科目群	(教養科目群・基盤科目群・キャリア教育			
専門 教育 科目 群	必修科目	物理学演習 I 物理学数学基礎	2 2	物理学演習 II 熱・量子基礎 2 2	
	選択必修科目	物理セミナー	2		

青枠内の全科目の合計 **48** 単位

履修登録単位の上限

年間 **50** 単位 (p. 122)

- 注意点**
- ☑ 前期と後期の合計
(前期に申し過ぎない)
 - ☑ 教職科目などの例外あり
 - ☑ Webでの入力に注意

[参考] 文部科学省の取り決め

1単位 = 30時間の自学自習
 50単位 = 毎日6時間の自学自習
 (50 x 30 h/240day = 6.25 h/day)

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

4年間での単位修得ペース

☑ 物理コースでは、3年までは自動的に上がることができる。

- ・ただし **年平均で20単位** 取らないと成績不振者扱い
 面談等を行った上、**命令退学の制度** が適用される場合がある。(p2, 3)

☑ 4年生(卒業研究生=物理特別研究の受講)になる条件

106 単位以上 【内必修科目**46**単位、選択必修**12**単位以上】 (p. 130)

☑ 学士の学位取得(卒業)要件

124単位以上 【内必修科目**56**単位、選択必修**26**単位以上】 (p. 130)

※ 詳しい条件は省略しますので、「履修の手引」をよく読むこと

○ 3年終了と同時に大学院進学(**早期卒業**)も可能

○ **ギリギリを狙わないこと！もったいない！留年の危険！**
意外にもよくある問題

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

3年終了 → 大学院1年 (飛び級)

- ✓ 2年次までの成績が優秀: **GPA 3.50** 以上なら予備申請可
- ✓ 3年次の最初に予備申請 → 特別の履修指導
- ✓ 大学院入学試験に合格、あるいは口頭試問

GPA とは? (p. 53)

Grade Point Average

👉 次のスライドで説明

Grade Point Average

成績表示	成績証明書の表示		単位	程 度	100点法	GPA素点
	(和文)	(英文)				
5	秀	A	○	非常に優れている	90点以上	4.0
4	優	A	○	優れている	80~89点	3.0
3	良	B	○	普 通	70~79点	2.0
2	可	C	○	やや劣る	60~69点	1.0
1	表示せず	表示せず	×	劣 る	59点以下	0.0
0	表示せず	表示せず	×	評価の対象にならない		0.0

- ✓ 試験で落ちても、途中で放棄しても **GP = 0**
- ✓ 履修申請して、途中で放棄すると **GPA** としては損
- ✓ **GPA** を意識し過ぎて、せっかくの学びの機会を無駄にしないこと

GPAが使用される場面

- ・ 早期卒業
- ・ **研究室配属** (卒業研究テーマ・進路に関わる)
- ・ 大学院入試の筆記試験免除
- ・ 最優秀学生の表彰
- ・ **就職活動** → 企業側の判断材料として使われる場合がある

履修取消制度

授業内容が、学修したいと思っていた内容と異なっていた場合や、授業を理解する上で必要となる知識が不足していた場合に、学期途中のあらかじめ定められた期間に履修登録の取消しを可能とする。ただし、取消しと同時に別の科目を履修登録することはできない。また、履修取消は、無制限に認められるわけではないので注意すること。詳細は掲示により周知する。

制度の対象となる授業科目

全学共通科目

教養科目群（総合ゼミナールは除く）、基盤科目群、キャリア教育科目（現場体験型インターンシップを除く）のうち、集中講義以外の授業科目が対象となる。取消し可能な科目数等の詳細は、掲示により周知する。

専門教育科目

学部・系によって実施の有無等が異なるため、学部・系の掲示を確認すること。

履修登録単位の上限との関係について

本制度を利用して履修を取消した科目の単位数は、当該年度の履修登録単位数には含まれない。

その他履修取消可能な場合について

新規開講科目（P. 5 参照）を履修するために、これと同じ曜日・時限に履修中の科目の登録を取り消す場合は、担当教員の許可があれば、取消し可能である。

また、集中授業の日程が公開された後、履修中の科目の日程が重複する場合は、定められた期間に限り、取消し可能である。

集中授業の日程重複による取消期間は掲示により周知する。

履修指導の対象者

成績不振者に対する措置

入学後の通算修得単位数が、在学年数別最低修得単位数に満たない場合は、年度末に履修指導を受ける。その単位数は、下表のとおりである。
ただし、休学期間のある者の在学年数は、休学期間を除いて通算される。

在学年数別最低修得単位数

在 学 年 数	1 年	2 年	3 年	4 年以上
最低修得単位数	20単位	40単位	60単位	80単位

命令退学

以下の要件に該当する者は、成業の見込みなしとして、年度末に退学を命じる（命令退学）。

- (1) 入学後の通算修得単位数が、在学年数に応じ、下表に示す単位数に満たない者。
ただし、休学期間のある者の在学年数は、休学期間を除いて通算される。

在 学 年 数	2 年	4 年	6 年
通算修得単位数	30単位	60単位	90単位

- (2) 入学後 6 年を経過し、年次修了判定により 3 年次に進級できない者。
(3) 入学後 7 年を経過し、年次修了判定により 4 年次に進級できない者。

成績・履修について



大学トップページからたどる方法

学生生活に必要な情報にアクセスできる。



成績・履修



- ☑ 半期(前・後期)ごと
- ☑ 成績は保証人にも通知 (p. 54)

特別な履修申請・登録について



《1年次に関係するものをピックアップ》

- ☑ 抽選・先着順：基礎ゼミナール (p. 9)
- ☑ 自動登録：情報リテラシー実践Ⅰ (p.10 - 11)
第一言語科目 (必修) (p.12 - 26)
- ☑ クラス指定科目(p.5 - 6)：

学修番号順又はコース別にクラス編成を行い、定められた曜日・時限の指定されたクラスで受講(履修)する

情報リテラシー実践Ⅰ (p.10 - 11)

微分積分、線形代数(数理科学コース提供)

教養基礎物理Ⅰ・Ⅱ (物理学コース提供)

一般化学、化学概説、化学実験(化学コース提供)

}(p.27-32)

- ☑ 「履修申請カード」により履修申請する科目 (p. 5)

化学実験 = 自然化学実験(化学) 教職科目

化学実験（自然科学実験(化学)）について



☑ 物理は1年次に履修

「自然科学実験(化学)」 → 「中一種免」の必修科目

※ **教職志望の人は「化学実験」ではなく、上記の科目名で申請すること。
(授業番号が異なるので注意！)**

☑ 「履修申請カード」が必要 (Web申請できない科目)

☑ クラス指定：**cクラス** 前期・木曜 3-4限 (p. 5 及びp.31)

- 以下のこと、掲示で確認すること！ -

- ガイダンス& 実験開始 (履修申請カード、テキスト、白衣など持参すること)
日時/場所： 4月7日(木) 13:00 より /8号館 385室
- **履修申請** 4月7日(木) 12:00 - 13:30 (それ以外コース 11日)
場所：教養化学実験室 8号館 385室
注意：必要事項を記入した履修申請カードを持参

物理セミナー (水曜5限 1号館103室)



物理学教室の先生による最先端の研究紹介

必修ではないが (選択必修) 原則、履修すること。

4/13	空間, 時間, 相対論	(宇宙理論、政井)
4/20	結晶中の電子がもたらす多彩な物性	(電子物性、青木)
4/27	偶然と必然の物理学	(非線形物理、首藤)
5/11	構造と物性	(表界面光物性、柳)
5/18	日常にあふれる物理とソフトマター	(ソフトマター、栗田)
5/25	X線γ線で見える宇宙	(宇宙実験、大橋)
6/1	超伝導の物理	(強相関電子論、堀田)
6/8	「強い力」の世界 ~原子核・ハドロン物理入門~	(原子核ハドロン物理、慈道)
6/15	物性物理入門	(粒子ビーム物性、門脇)
6/22	The dark side of the Universe	(高エネ理論、ケトフ)
6/29	宇宙と原子	(原子物理、田沼)
7/6	ミクロの世界を探る~素粒子実験のいま~	(高エネ実験、角野)
7/13	物理学とナノサイエンス	(ナノ物性、真庭)
7/20	極低温の世界 ~超流動現象~	(量子凝縮系理論、荒畑)

履修の手引 別冊「教職課程の履修概要」

p. 2-10, p. 30-31, p. 53-58

毎年度、4月当初の教職ガイダンスに参加すること。
履修希望者は、教務課の「教職」の掲示を確認すること。

履修の手引 別冊「学芸員資格取得要領」

p. 59-66 (詳細は教務課に相談)

博物館実習受講に関するガイダンスに参加すること。

両者とも標準履修課程表にないたくさんの単位修得が必要。
年間50単位の制限外となる場合がある。

※教育実習には、「学生教育研究災害傷害保険」と「学研災付付帯賠償責任保険」(どちらも学生課で対応)の加入、定期健康診断の受診が必須。教職を取らない人も、保険の加入を強く推奨する。

物理学特殊講義 B (後期月曜3限、1-4年対象)

基本情報

科目種別	専門教育科目	授業番号	1370
学期	後期	曜日	月
科目	物理学特殊講義 B (Fundamental mechanics)	時限	3限
担当教員	宮原 恒晃*	単位数	2

詳細情報

授業方針・テーマ	Lectures of a very elementary part of classical mechanics are given to students including those who did not study it in their highschool days. The main target is to understand the three principles of Newton's law of mechanics. The concept of "energy" and "work" will be explained in an elementary manner. The lectures also include mechanics of a rigid body and the idea of angular momentum and its conservation.
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	Students will acquire a basic knowledge on "physical quantities" such as velocity, acceleration, mass etc. They learn how vector quantities are distinguished from scalar quantities. They have opportunity to solve some basic problems on motions of a body with gravity, with friction or other forces. They will understand the concept of the potential energy and the kinetic energy together with the idea of the conservation of mechanical energy. The concept of angular momentum and its conservation will be given so that the students should understand the key idea based on the "central force". As extension of angular momentum they also learn the rotational motion of a rigid body.
授業計画・内容	There are 15 lectures including the final examination, as follows: No1: What are velocity and acceleration? Importance of the units of physical quantities No2: What is the dimension of a physical quantity? Difference between vector quantities and scalar quantities No3: Calculation of the position of a moving body. Graphical method and mathematical method No4: Two-dimensional motion of a body under gravity No5: The three principles of Newton's law. No6: How are "energy" and "work" defined? The conservation of total mechanical energy No7: Frictional force. Solving some basic problems No8: Circular motion and pendulum No9: Harmonic oscillator and conservation of total mechanical energy No10: Collision and conservation of total momentum No11: Central force and angular momentum of a point mass No12: Mechanical balance of a rigid body and the moment of a force (torque). No13: Torque and change in the angular momentum No14: Moment of inertia No15: Written examination solving given problems; Summary

<http://www.kisokyo.tmu.ac.jp/kyomu/index.html>



The screenshot shows the homepage of the Faculty Office at Tokyo Metropolitan University. It features a navigation menu on the left with categories like '学籍管理' (Student Record Management), '学年制' (Semester System), '時間割' (Timetable), '授業概要・科目一覧' (Course Overview/Subject List), '試験・集中・補講' (Exams/Intensive/Recitation), and '教職課程・学芸員資格' (Teacher Education/Professional Qualification). The main content area includes '更新情報' (Update Information) with several news items dated 2016.1.22 and 2016.1.28, and 'お知らせ' (Notice) with items dated 2015.7.30, 2016.1.25, and 2015.10.20. There are also links to the '事務情報システム' (Administrative Information System) and the '公式サイト' (Official Site).

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

4月の主な予定 (2016)

- 4/1 (金) 英語クラス編成テスト(学生証配布)
- 4/3 (日) 入学式
- 4/4 (月) 基礎ゼミナールガイダンス・履修ガイダンス (「履修の手引」等配布)
基礎ゼミナール Web申請 (抽選登録)
情報リテラシー実践Ⅰ クラス発表
- 4/5 (火) 理工学系、物理ガイダンス、オリエンテーション
- 4/6 (水) 全体履修相談 15:00 - 17:30 6号館2階・3階
- 4/7 (木) 授業開始
履修申請カード提出(指定科目)
個別履修相談(コース別) 10:30~12:00 8号館 527室 担当: 松田
- 4/8 (金) 個別履修相談(コース別) 16:20~17:50 8号館 527室 担当: 松田
- 4/7 (木) ~ 13 (水) 学生定期健康診断
- 4/11 (月) 基礎ゼミナールWeb申請 (先着順) (~ 12日(火) 14:00)
- 4/18 (月) Web 履修申請開始 (~ 4/25(月)まで) (自宅あるいは学内のPCから)
指定科目の確認開始 (~ 4/26(火)17:00)
- 4/26(火) 履修申請の最終確認とWeb修正&窓口修正締め切り (17:00まで)
※ 余裕を持って早めに! 全体の確認を忘れないこと!
- 4/29(金) 昭和の日、 授業日

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

携帯電話をスイッチ ON!



メールをこの場で送って下さい。

宛先: ori@phys.se.tmu.ac.jp

題名: ORI(または ori)

内容: 学修番号, 氏名

電話番号(自宅と携帯)

持っているなら携帯以外のメールアドレス

いま携帯電話を持っていない人は?

→ 紙に書いて提出して下さい。

お願い: @phys.se.tmu.ac.jp / @tmu.ac.jp

からのメールを受信できるよう設定しておいて下さい。

※ 個人情報として厳重に管理するとともに、教員からの連絡以外の目的には一切使用しません。

・ 大学からの連絡としては、「**掲示**」が基本。

携帯メールの設定について



- メール: 首都大物理学教室の教員→学生への主要な連絡手段の一つ
- 大学のメールアドレス(姓名一名前@ed.tmu.ac.jp): 学生全員に付与
- メールの送受信の方法: 「情報リテラシーI」の授業で説明
- 大学のメールアドレス宛のメールを個人的メールアドレス(携帯・PC)にも転送可能→大学のアドレス宛のメールを毎日のチェックが不要で便利(その方法も「情報リテラシーI」の授業で説明; 4月中旬~下旬)
- それまでは個人的メールアドレス宛に連絡が行くことになります。

- docomoの携帯メール: 着信拒否をしている諸君が多く、教員からの連絡が届かないというトラブルが多発
- そこでdocomoユーザーに対する推奨設定法を簡単に紹介

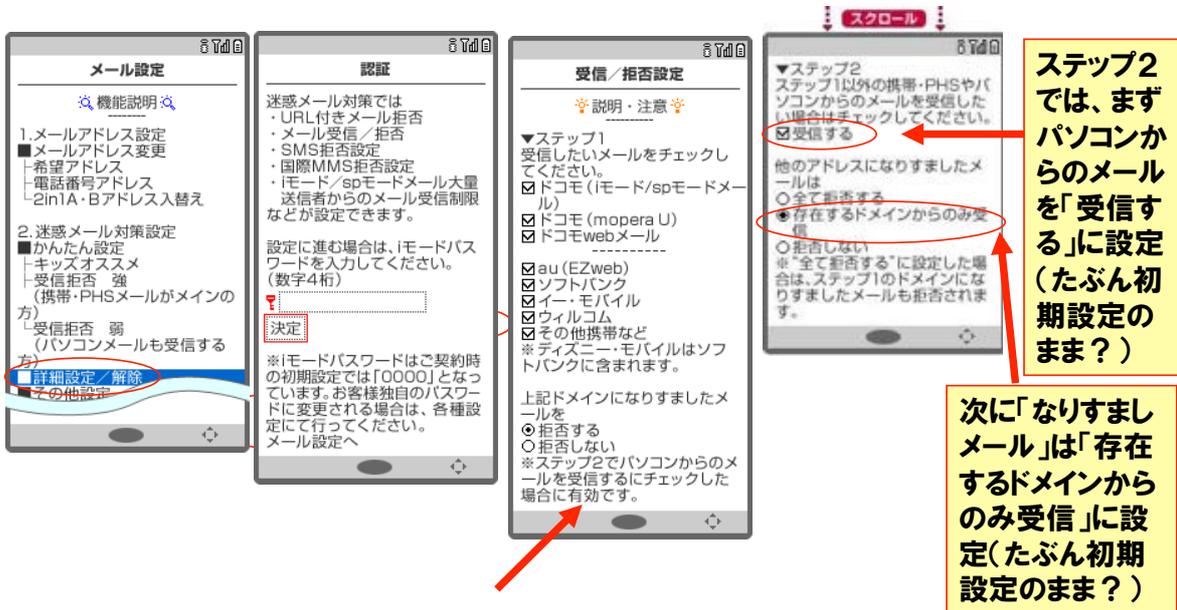
- au、softbank の場合は、わざわざ受信拒否の設定をしていなければOKなはず

設定について

詳細はdocomoの以下のホームページを参照してください:

https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/useful/i_mode/

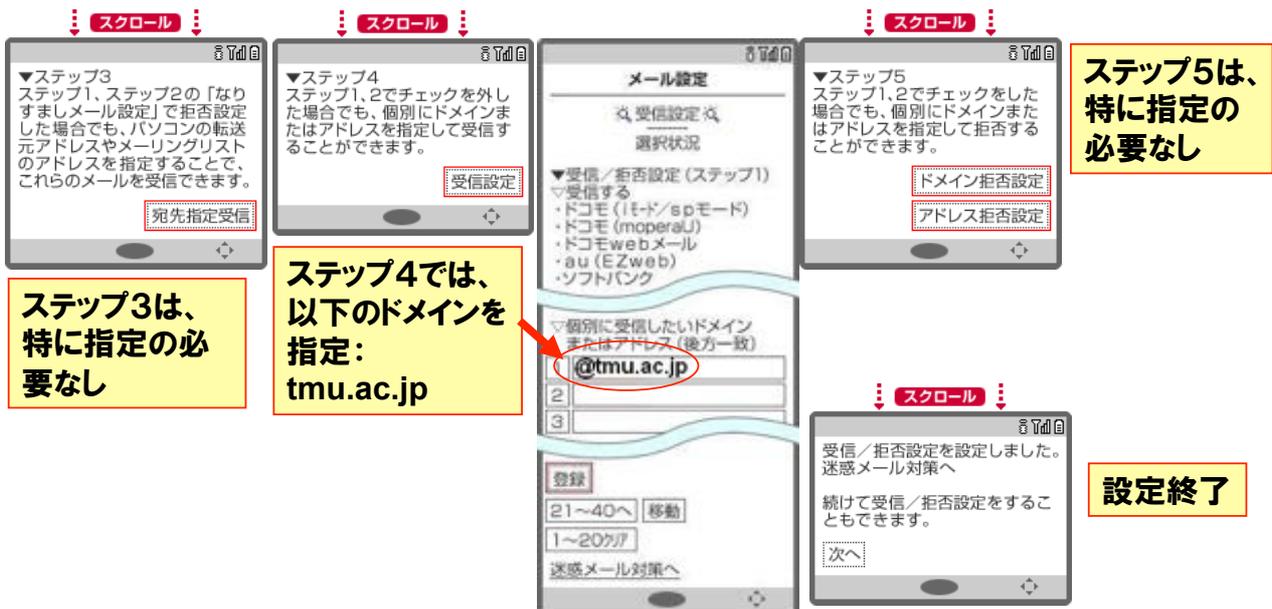
Menu ▶ お客様サポート ▶ 各種設定(確認・変更・利用) ▶ メール設定



ステップ2では、まずパソコンからのメールを「受信する」に設定(たぶん初期設定のまま?)

次に「なりすましメール」は「存在するドメインからのみ受信」に設定(たぶん初期設定のまま?)

設定について



ステップ3は、特に指定の必要なし

ステップ4では、以下のドメインを指定: tmu.ac.jp

ステップ5は、特に指定の必要なし

設定終了

未成年者飲酒禁止法



首都大学東京

未成年者飲酒禁止法

1条

- 満20歳未満の者（未成年者）の飲酒を禁止する（1条1項）。
- 未成年者の親権者や監護代行者に対して、未成年者の飲酒を知った場合に、これを禁止する義務を規定する（1条2項）。
- 酒類を販売する営業者又は供与する営業者が、未成年者に対して、飲酒することを知りながら、酒類を販売又は供与することを禁止する（1条3項）。
- 酒類を販売する営業者又は酒類を供与する営業者に対して、未成年者の飲酒を防止するための、年齢確認その他必要な措置をとるべきことを定める（1条4項）。

2条

- 未成年者が、飲用のために所有・所持する酒類およびその器具について、没収・廃棄などの必要な処置が、行政処分として行われる。ただし、現在、この行政処分の手続等についての法令は存在していない。

3条

- 未成年者自身が飲酒することを知りながら、未成年者に対して、酒類を販売・供与した営業者に対して、50万円以下の罰金を科す（3条1項）。
- 未成年者の飲酒を知って制止しなかった親権者や監護代行者に対して、料金を科す（3条2項）。

4条

- 酒類を未成年者に販売・供与した営業者の経営組織の代表者や営業者の代理人、使用人、業務委託先・偽装請負などで事している従業員が、その業務上酒類を未成年者に販売・供与した場合には、行為者とともに営業者を罰する（同前規定）。

<※ 飲酒を行った未成年者に対する罰則はない。>

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

学生生活上の諸注意 (Campus 2016)



首都大学東京

- ☑ 大学のホームページの情報を過信しない。 **掲示が基本。**
- ☑ 自動二輪での入構には申請，自転車には届出が必要。
- ☑ もしも，セクハラ，アカハラが起きたら相談員へ (p.36)。
- ☑ 歩行喫煙は禁止。タバコが吸えるのは喫煙所のみ。
- ☑ 学生も社会の一員。公共のルールやマナーを守ること。
- ☑ 通学定期の不正使用は，学生割引制度をも揺るがす。
- ☑ 悪徳商法，反社会的宗教団体， **自己啓発セミナー (キャリアコンサルティング)** などに注意。妙にうまい話には乗らないこと。
- ☑ 定期健康診断 (4月7 -13日)
- ☑ **未成年の飲酒**は誘われても断ること。

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

学生相談室



首都大学東京

http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/08_soudan/02_sodan.html

首都大 Top page



学生生活



学生相談について

無料

開室時間	月曜～金曜 10:00～18:00 (予約受付は17:30までです。)
場所	7号館2階
連絡先	〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 ☎ 042-677-1111 (内線2121) ☎ 042-677-2376 (学生相談室直通) 原則として予約制です。お電話いただくか、直接来室してお申込みください。 予約に余裕があるときにはその場で相談に応じることもできます。
心療カウンセラー	渡部 みさ (教授) 村松 健司 (教授) 鈴木 志敏也 関 智雄 中村 実花
事務	市川 真由美 藤岡 かつ美
精神医学アドバイザー	野村 俊明 (精神科医)

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

大事なことをもう一度確認



首都大学東京

- ✔ とにかく「履修の手引」を熟読すること
- ✔ 履修申請のWeb登録と確認を忘れずに
4月18日(月)～4月25日(月)
- ✔ 掲示 (インフォメーションギャラリー) に注意

相談窓口

- ・履修関係 - 教務課
 - 松田達磨 (物理・基礎教育部会委員)
(全体) 4月6日(水) 15:00～17:30 6号館 2・3階
(コース別) 4月7日(木) 10:30～12:00 8号館 527室
(コース別) 4月8日(金) 16:20～17:50 8号館 527室
※ ガイダンスで既に説明した内容について質問に来ないように!
- ・その他 - 担任教員

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

担任制度について



5名程度の新生（学修番号順）

数ヶ月に1度程度のコンタクト

2名の教授・准教授（理論系と実験系）

一人で抱え込まずに、気軽に相談して下さい。

- ・ 授業についていけない。
- ・ 高校（予備校）までの授業と違って戸惑う。
- ・ 自分に足りないものが判らない。
- ・ 進路が決められない。
- ・ 学業の悩み， 人生設計， 将来への不安， etc.
- ・ 留学等に関する相談（推薦書が必要等）

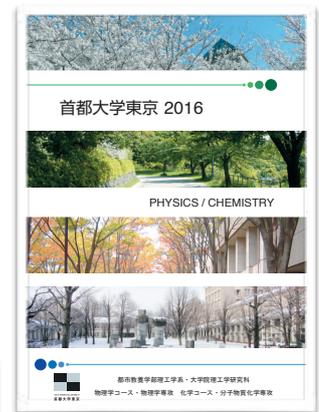
Department of Physics, Tokyo Metropolitan University

担任との第1回面談 & 写真撮影



- ・ 物理教室の教授・准教授の自己紹介
- ・ 担任との顔合わせ（グループ毎に名前を呼びます）
- ・ グループ毎に写真撮影
- ・ 1箇所集まって、担任と面談

スタッフ全員の自己紹介(30秒以内/人)



面談終了後 16:00までに

国際交流会館に移動して下さい。

Department of Physics, Tokyo Metropolitan University